

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度 第5回和田区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

（1）令和2年度地域活動支援事業の募集要項及び審査・採択のルールについて  
（公開）

（2）令和2年度以降の地域協議会だよりの配布方法について（公開）

（3）地域協議会活動報告会の日程等について（公開）

（4）和田区雪イベントの進捗状況について（公開）

## 3 開催日時

令和元年12月19日（木） 午後6時30分から午後7時30分まで

## 4 開催場所

ラーバンセンター 第1研修室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：水澤俊彦（会長）、橋本 勲（副会長）、秋山澄子、市橋邦夫、  
岩澤 弘、植木泰行、笠原完治、小林春男、土屋史郎、平原 匡、  
前川正治

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、佐藤係長、小林主任

## 8 発言の内容

### 【佐藤係長】

・有坂委員、泉委員、高橋委員を除く11人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は水澤会長が務めることを報告

**【水澤会長】**

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：市橋委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【堀川センター長】**

資料に基づき説明。

—令和2年度地域活動支援事業の募集要項及び審査・採択のルールについて—

**【水澤会長】**

次第3議題(1)「令和2年度地域活動支援事業の募集要項及び審査・採択のルールについて」に入る。

先般委員に、令和2年度の地域活動支援事業に関する意見の提出を依頼したが、委員から事務局に提出された意見はなかった。

令和元年度分から改善すべき点はないことでよいか確認を求め、委員全員の了承を得る。

令和2年度の地域活動支援事業の募集要項及び審査・採択のルールについては、令和元年度のとおりとしてよいかを諮り、委員全員の了承を得る。

—令和2年度以降の地域協議会だよりの配布方法について—

**【水澤会長】**

次第3議題(2)「令和2年度以降の地域協議会だよりの配布方法について」に入る。

前回の会議で説明があったように令和2年度以降の地域協議会だよりの配布方法について、現行の全戸配布か、班回覧かについて、委員の意見を伺い地域協議会としての考えをまとめたいと思う。

地域協議会だよりの配布方法について委員に意見を求める。

**【秋山委員】**

全戸配布でも見る人と見ない人がいるので、班回覧でよいと思う。

**【市橋委員】**

回覧の方が目を通してくれるのではないかと思うので、班回覧でお願いしたい。

**【岩澤委員】**

できれば全戸配布でお願いしたい。実際、班回覧ではほとんど見ないことが多かった。班回覧でもよい気もするが、もう少し地域協議会のことを浸透させるためにも全戸配布にしてほしい。

**【植木委員】**

従来どおりの全戸配布を希望する。

**【笠原委員】**

地域協議会の委員をやっているので、その点から、まだこの地域協議会は道半ばだと思っている。そのためにも全戸配布を続けていただきたい。ただし、町内会長協議会の中では賛否両論。町内会長協議会としての結論はまだ出ていない。

自分に関わりがないと思う人は、全戸配布でも班回覧でも見ないものは見ない。ただ、町内会長の中には、もう少し興味を引くような内容にしてほしいという厳しい要望も出ている。地域協議会の知名度を上げるために内容も工夫し、皆さんから読んでもらうような努力をしてほしいという意見も出ている。この点は耳を傾けないといけない。

**【水澤会長】**

笠原委員としての意見は。

**【笠原委員】**

全戸配布。地域協議会の知名度は道半ば。

**【小林委員】**

班回覧でよいと考えている。

**【土屋委員】**

住民の認識を高めるため、全戸配布の方がよいと思う。

**【前川委員】**

委員になって8年目の中で、いろいろあちこちと話を聞いてみると、うちの町内、うちの班になるが、いろいろな面でこれを利用したらよいのではないかという話題が出てきていることは確かである。私自身も地元でいろいろな活動の中、周りの人を巻き込んで活動してきた関係もあるが、地域協議会の意味もようやく分かってきたような、皆さんが理解してきた感じを受けている。だから、全戸配布でお願いしたい。

**【平原委員】**

費用的に可能であれば、全戸配布が望ましいのではないかと思う。班回覧でもよいと思うが、費用の問題と思っている。

**【堀川センター長】**

費用の面については、どちらでも対応可能である。班回覧にすれば、たよりに使用する紙代が10分の1ぐらいに減る。費用の面については、今は考えなくて結構である。

**【水澤会長】**

和田区地域協議会として、どの配布方法がよいかということをもとめたいと思う。

**【平原委員】**

全戸配布に賛成。

**【橋本副会長】**

個人的には全戸配布。全戸配布に反対という意見の方にお聞きしたいが、地域協議会の認識、地域協議会がどういうものかということがまだまだ知られていないところがある。それから班回覧だと見ない人は見ない。そういう意味も含めて、全戸配布でお願いしたい。

**【水澤会長】**

私も今までどおりの全戸配布を希望する。「もっと皆さんに見ていただけるような内容に」という意見が出ていることについては検討しないといけない。この地域協議会の活動を地域の皆さんにお知らせする意味では大きいことだと思う。しっかり内容を吟味して伝えられるようなたよりにすること。そして皆さんからご覧いただいて、また、いろいろな形で地域協議会との関わりを持っていただければと思う

ので、全戸配布を希望する。

今日出席の全委員から意見をいただいた。全戸配布が8人、班回覧が3人であることから、和田区地域協議会としては、全戸配布を希望するという考えでよいかを諮り、委員全員の了承を得る。

また、本日まとめた結果を町内会長協議会へ伝えるにあたり、町内会長協議会への伝え方などについて正副会長に一任することでよいかを諮り、委員全員の了承を得る。

**【堀川センター長】**

高田区地域協議会では、全戸配布を希望。直江津区も全戸配布を希望している。13区は軒並み全戸配布の方向で進んでいる。それで高田区は、私と会長が高田地区の町内会長協議会に行ってお願いをしてきたが、高田地区の町内会長協議会としては、その要望は受け入れられないということで、断られてしまった。配っていただけの団体から駄目と言われてしまえばどうしようもないと思っている。今後、高田区地域協議会でその対応を協議することになるが、もう一度、お願いするなり、次の手を考えざるを得ない状況になっている。よってここで全戸配布と決めたとしても、実際に配っていただけの方がそのように判断されることがある。

**【笠原委員】**

これはそもそも地域協議会で決めればよいことではないのか。なぜ町内会長協議会に打診して、反対されたら町内会長協議会の意見に従うということにしまったのか。

**【堀川センター長】**

地域協議会会長会議の時に、町内会の担当課である共生まちづくり課から、市として協議会だよりは班回覧で配布してほしいとするお願いが伝えられた。しかし地域協議会として、引き続き全戸配布を望むのであれば、地元の町内会長協議会と協議し、了承をもらえた場合は、全戸配布にすることは可能であるとの説明を受けた。

**【笠原委員】**

町内会長協議会に何を聞くのか。地域協議会として、全戸配布してほしいとお願いするのか。

【堀川センター長】

市は班回覧という方針で決まったと聞いている。

【笠原委員】

いや、決めていない。

【堀川センター長】

我々はそのような話で進んでいると思っていたので、本日そのように話をさせてもらっている。

【笠原委員】

協議して決定することになっている。地域協議会と地区の町内会長協議会と。

【堀川センター長】

だから、これから協議することになる。今ここで決まったことを町内会長協議会にお願いするということ。

【水澤会長】

共生まちづくり課から、地域協議会だよりは班回覧だという指示が出たということ。これは決定事項か。

【堀川センター長】

そのとおり。

【水澤会長】

ちなみに、金谷区、三郷区ではどのような状況か。

【堀川センター長】

まだ結論は出ていない。

【水澤会長】

直江津区地域協議会は全戸配布を要望したが、その結果は。

【堀川センター長】

これから町内会長協議会と協議する。

【水澤会長】

今ほどの説明のとおり、13区の地域協議会は全戸配布を希望しており、地元の町内会長協議会も了承しているとのことである。恐らくこの差なのだろう。和田区

地域協議会としては、町内会長協議会へ引き続き全戸配布でお願いしたいという要望をしたいと思う。

【笠原委員】

了解した。

【水澤会長】

他に質疑を求めるがなし。

—地域協議会活動報告会の日程等について—

【水澤会長】

次第3議題（3）「地域協議会活動報告会の日程等について」に入る。

年度末に毎年開催している「活動報告会」について、令和元年度の開催日を正副会長の事前協議で決めさせていただいた。日時は、令和2年3月6日金曜日、午後6時30分から、会場はラーバンセンター第1研修室。内容としては、現委員が活動してきた平成28年から4年間の活動状況。それから令和2年度地域活動支援事業や委員改選について説明したいと考えている。

意見等がないので、活動報告会を説明した内容のとおりで開催してよいかを諮り、委員全員の了承を得る。

—和田区雪イベントの進捗状況について—

【水澤会長】

次第4報告（1）「和田区雪イベントの進捗状況について」に入る。

和田区雪イベントの進捗状況や今後の予定について、私から説明をさせてもらう。

令和元年12月12日に、第1回みんなの冬のカーニバルのキックオフをラーバンセンターで行った。当日都合が悪く私は出席できなかったが、委員や各町内会長からも多く参加いただいた。その記事が12月14日の上越タイムス一面に掲載されていた。

そんな中、今後どのように進めていくかということと、イベント当日2日間について、どのイベントにどの程度の協力人数が必要なのかも含め、各団体に依頼文を配布してほしいということだった。12月17日に総務委員会を開き、和田区雪イベント実行委員会からの依頼内容として「和田区雪イベントにおける役割分担のお願い」としてまとめた。

年が明けてから、また実行委員会等を開催して内容を詰めていきたいと考えている。それと令和2年2月9日の日曜日の会場警備については、上越市消防団和田分団からお願いしたいと考えている。

今ほどの説明について委員に質疑を求める。

**【市橋委員】**

たくさんの行事が開催されるが、当日は自動車での来場も相当あると思う。我々委員や準備する関係者も自動車で来場すると思うが、駐車場について教えてほしい。

**【水澤会長】**

駐車場や交通誘導等については確認していないが、釜蓋遺跡ガイダンスの駐車スペースは全て使ってよいということになっていて、建物内も開放することになっている。恐らく釜蓋遺跡ガイダンスの駐車場は全て使えると思う。どんな形で駐車場を活用していくか、これから検討していきたいと思う。ただ雪の積雪状況によって随分変わってくる。雪が少ないのも困るし、また大雪になると準備が大変になる。その辺のことも想定しながら、これから詰めていくことで聞いている。

**【市橋委員】**

雪が降ると、駐車場が結構狭くなる。以前フルサットで開催されたイベントでは臨時駐車場として活用したが、意外と停められない。

**【平原委員】**

その後、新たに建物が建ったので、更に空き地が無くなってきた。

**【水澤会長】**

周囲に駐車場はあるが、基本的に皆有料である。その辺もまた詰めていきたいと思う。

**【笠原委員】**

これで結構だと思うが、お願いにある「担当」とは、基本的には準備と進行も兼ねることを意味するのか。

【水澤会長】

そのとおり。項目ごとの担当という意味である。

【笠原委員】

イベント全体の流れを見る人はいるのか。

【水澤会長】

それは当然、総務の担当である。

【笠原委員】

総務委員会が流れを見ているのか。

【水澤会長】

イベント開始から終了まで、総務の担当者が全体の流れを見る。ただし、個々のイベントで、どの程度の協力人数が必要なのか。これは、至急各団体に伝えて、どの程度の人員が確保できるかを詰めていきたいと思う。

いずれにしても、積雪が今の状況のような場合、雪イベントになるのかどうかもある。ちなみに雪が全く無い状況になった時に、どんなことをしたらよいのか。みんなの冬のカーニバルなので、雪が無くても寒い冬にやるイベントということになるか。1日目のオープニングに行われる「雪のお仕事」感謝状贈呈式では、除雪のパネルを貼り、地元除雪業者に対して、小学生の子どもたちから書いてもらった感謝状を読み上げてお渡しする予定である。その後に自転車発電競争が行われるが、会場は上越妙高駅西口2階の光のテラスなので、建物の中ということもあり雪があっても無くても問題ないと思う。ただ2日目の雪上「大玉ころがし」、雪中「宝探し」になると、雪が無いとイベント自体が出来ないと思うので、雪が全く無い状況になったらどのようなことをしたらよいか意見はあるか。

【笠原委員】

雪が無かったら、これはカットだろう。妙高から雪を運ぶわけにもいかない。

【水澤会長】

大変である。

## 【笠原委員】

ここまで準備しているが、このイベントだけやめることになるか。

## 【水澤会長】

光のテラスで出来る範囲のイベントにするしかないと思う。どのように変更するのかということもあるが、全く雪の無い状況では室外では出来ないと思う。後日開催される実行委員会で検討協議していきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

地元企業に対して、協賛金のお願いをしており、大和倶楽部からも協賛したいといった話を聞いている。それと和田地区商工振興会では役員会が1月にあり、それまでに各企業から申込みの口数をいただいて、その役員会で集金することが決定している。それと上越南部振興会、上越妙高駅周辺事業協同組合については、各事業所に対して協賛のお願いの依頼文がFAXにて送信された。そこでは申込用紙を付けて返信をいただく形をお願いしているが、令和元年12月16日現在、合わせて10数口の申込みがあった。総務担当である前川委員、秋山委員、橋本副会長、そして私が手分けをして集金をしている。目標金額に達成できるのではないかと見込んでおり、まとまったら協賛者を発表したいと考えている。今後毎年協賛をお願いすることになることから、一口5,000円という形で申込みをいただくようになっているので、承知いただきたい。

説明について質疑を求めるがなし。

## —その他—

- ・平原委員から、委員が現在管理している「雪室コンテナ」について、これまで行われてきた実証実験の経緯や活用の取り組みに関する説明があり、委員に対して「雪室コンテナ」の今後の活用方法について意見を求めた。アイデアや意見がある場合には、直接平原委員に伝えることとした。

## —事務連絡—

【水澤会長】

「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

・今後の日程

今回は令和2年1月下旬から2月上旬に協議会を開催したいと思っている。本日も配布した日程調整の結果により、期日を決定したい。

・配布物

和田区地域協議会の開催に係る日程調整について

令和元年度地域活動支援事業（和田区）主な行事予定表〔1月、2月、3月〕

事務事業評価の結果について

ウィズじょうえつからのおたより

【水澤会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

間もなく委員の任期が終わろうとしているが、来年には次期委員の募集が行われる。1期目の委員はいろいろと分かり始めて面白くなってきた頃だと思うので、2期目、3期目を目指していただければと思う。

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。